

小学校四年

チャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、第四学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、小学校四年国語「話すこと・聞くこと」にチャレンジしましょう。
今から一回だけ、問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙のあいているところにメモをしてもかまいません。

山下さんの学級では、みんながもつと仲良くなるための話し合いをしています。その中で、友達のよいところ探しをすることになり、友達がよい行いをしたことや頑張ったことなどを「きらりカード」というカードに書いて、帰りの会で紹介することになりました。今は、紹介した後の「きらりカード」の取扱い方について話し合っています。あなたもこの話し合いの司会者になったつもりで聞きましょう。

司会 次は、帰りの会で紹介した後の「きらりカード」の取扱い方について話し合います。「きらりカード」をどうしたらよいか、意見のある人は手を挙げて発表してください。（間） それでは、本田さんお願いします。

本田 はい、わたしは、「きらりカード」を書いた人が相手に直接渡したらよいと思います。なぜかというと、自分のよいところが書いてある「きらりカード」をもらうとうれしいからです。そして、「きらりカード」を渡すときに、「頑張ったね」とか「ありがとう」とか、いろいろな会話ができれば、お互いにもつと仲良くなれると思います。

司会 ありがとうございます。他にありませんか。（間） はい、山下さんお願いします。はい、わたしは、「きらりカード」を教室の壁にはっていったらよいと思います。例えば、広い紙に大きな木の絵をかくて、その上に「きらりカード」を葉っぱのようにして一枚一枚はっていくと、少しずつ葉っぱが増えていき、楽しいと思います。そうして葉っぱがいっぱいになる頃には、みんながもつと仲良くなっていると思います。ありがとうございます。他にありませんか。（間） ないようでしたら二人の意見に質問はありませんか。

話し合いはまだ続きますが、放送はこれで終わりです。
それでは、問題用紙を開いて始めてください。